

社会実験「非接触型決済」の結果について

1 目的

利用者の利便性向上及び新型コロナウイルス感染症対策の一環として、コミュニティバス全8路線において、非接触型決済（QRコード決済）の社会実験を行ったもの。

2 導入した非接触型決済

PayPay（ペイペイ） コミュニティバス運行事業者にて契約及び運輸局へ届出

3 期間

令和3年6月1日から同年8月31日までの3か月間

※PayPay（ペイペイ）の手数料が無料となる期間と同一とした。

4 周知方法

広報せと、市ホームページ、コミュニティバス車内

5 利用結果

次表のとおり

	現金	回数券	もーやっこ券	PayPay	合計
6月	271,150円	367,500円	3,300円	150円 (0.02%)	642,100円
7月	273,200円	332,500円	1,200円	2,900円 (0.48%)	609,800円
8月	258,350円	333,000円	1,500円	1,400円 (0.24%)	594,250円
計	802,700円	1,033,000円	6,000円	4,450円 (0.24%)	1,846,150円

(分析)

- ・全体収入のうち、3か月間全てにおいて1パーセント未満の実績であった。
- ・最も利用があった7月の利用者数は、30人（全体6,798人）であった。
- ・コミュニティバスの料金体系が定額制（100又は50円）であることから、利用が広がらなかったものと考えられる。

6 今後の方針

現時点ではニーズは低いと考えられるため、本格的な導入は見送る。